

寒ざらしそばサイコー

日光国立公園への外地のレストハウスで行
国人観光客誘致(イン) われた。東京などの観
バウンド)を検討する 光業関係者ら約二十人
「日光オープンラボ」 が参加し、標高約一、
が十七日、日光市所野 三五〇坪の同園地で冬
の霧降高原キスゲ平園 場にアク抜きや天日干

「日光寒ざらしそば」の手打ち実演
を見学する参加者たち＝日光市で



日光でオープンラボ 外国人ら絶賛

して独特の甘みを引き出した「日光寒ざらしそば」の試食をした。環境省の「外国人を対象とした国立公園の魅力発信モデル事業」の一環。日光と、阿蘇など三つの国立公園を対象にした九州エリアが事業指定されている。日光エリアは、県内を拠点に農産物の加工販売や「道の駅」の運営などを手掛ける「フアーマーズ・フォレスト」(宇都宮市)がプロデューサーを務め、七、八月に鬼怒川温泉地区と奥日光地区で、大手広告会社や東京などの観光関係者を招きオープンラボを開催した。

三回目となる今回

国立公園の魅力発信 国事業に観光関係者ら参加

は、日光・栗山両地区の日光国立公園内の観光資源や魅力を発掘するのが目的。霧降高原を訪れた一行は、寒ざらしそばの手打ち実演を見た後、実際にそばを味わった。三人の在日外国人も参加し、「今まで食べたそばの中で一番おいしい」と笑顔を見せた。

環境省自然ふれあい推進室は「国立公園の自然をはじめとした魅力をいかに高め、外国人に伝えるかが課題。日光エリアをモデルに全国の国立公園に広めたい」と意気込んでいた。

同省では、日光インバウンドの可能性などを検討し、十月二十二日から二泊三日のモデルツアーを日光市内で開催する予定。

(石川徹也)